

「大沢・川前地域交流ネット あがれ！天旗」

大沢市民センター×青葉区中央市民センター

1 事業概要

大沢市民センターが担当する大沢中学校区には、大沢地域と川前地域があり、それぞれの連合町内会が独自に活動を行っていることから、相互交流を進めることが課題となっています。

平成25年度の市民企画会議「大沢&川前・地域交流ネット」で、地域交流促進と活気ある地域づくりを目指し、宮城県を含む様々な地方であげられてきた凧“するめ天旗”を活用した凧作りと凧あげが企画されました。現在は大沢・川前両地域の住民で構成される「大沢・川前地域交流ネット あがれ！天旗実行委員会」と市民センターが協働で事業を実施しており、令和4年度に第10回を迎えました。



2 令和4年度の活動



第10回という区切りを迎えることもあり、例年より早い5月から実行委員会を実施し、準備を進めてきました。新型コロナウイルスの感染拡大状況を考慮し、令和3年度に引き続き、凧の材料と作り方説明書をセットにした”するめ天旗作製キット”の配付と、凧の作り方と凧あげのPR動画のYouTube配信を行っていますが、より凧が作りやすいようキットの材料を増やし、動画も新しく撮影しました。ミニ連凧やミニ凧作りなどにも挑戦し、事業を盛り上げるために頑張っています。また、今までの活動を広く知っていただくため、10年の記録誌を作製しています。

3 成果と課題

「あがれ！天旗」事業は、10年の間に世代を超えた交流の場として地域に定着しています。また、市民センターを会場に実行委員会を開催することで、市民センターの事業等に関わっていただく機会も増え、各々のスキルを生かした、地域人材として活躍する場を提供することにもつながっています。実行委員会のメンバーの高齢化が課題となっていますが、青葉区中央市民センターの支援のもと、YouTubeで動画配信にチャレンジするなど、新しい時代の流れに沿った方法も取り入れて、若い世代にも注目してもらうことに努めています。



4 今後の展望



大沢・川前の地域住民が主体となって、地域交流と地域活性化を図るイベントとして開始した「あがれ天旗」は、老若男女が楽しめる、地域に根差した事業となっており、今後も両地域の交流の場として継続が必要であると考えています。また、実行委員会のメンバーを講師とした大人のための凧作り講座を開催し、後継者を育てることに努めていきたいと考えています。